

平成17年度「みどりの日」自然環境功労者表彰環境大臣表彰受賞者一覧

	受賞者	功績概要	部門
1	北海道海鳥センター友の会 (北海道)	北海道海鳥センターの事業に協力し、ウミガラスの保護活動、海洋環境保全の啓発に尽力	保全活動部門
2	青森県立五所川原農林高等学校自然科学部 (青森県)	行政及び大学・自然保護団体等と連携し、津軽半島を中心に野生生物の生息調査及び保護活動を展開	保全活動部門
3	田老町立田老第三中学校 (岩手県)	オオワシ、オジロワシ等の調査や観察会の開催、地域住民への保護意識の啓発等、継続的な野鳥保護活動を実施	保全活動部門
4	特定非営利活動法人 穴塚の自然と歴史の会 (茨城県)	行政、研究機関、地元農家、学校等と連携し、穴塚大池を中心とした里地の保全活動、環境教育の推進等に尽力	保全活動部門
5	岩瀬 徹 (千葉県)	植物生態学の専門家として、クマガイソウの保護増殖調査、食虫植物・湿性植物群落の保護活動、自然観察会指導者養成等に尽力	保全活動部門
6	浮野の里 葦の会 (埼玉県)	住民有志で「浮野の里」の自然環境保全を目的とした会を設立し、クヌギ並木や稀少植物であるノウルシ等の保護活動を実施	保全活動部門
7	特定非営利活動法人 自然塾丹沢ドン会 (神奈川県)	都市住民と地域住民が連携した里山の保全管理、ホームページによる情報発信、普及啓発等を実施	保全活動部門
8	トキの野生復帰連絡協議会 (新潟県)	農家グループ、市民団体、大学等により、トキの野生復帰に向けた、生息地やエサ場の保全、生態系保全型農業の実践、学術調査等を実施	保全活動部門
9	乙女高原ファンクラブ (山梨県)	市民、行政、企業等が連携して、乙女高原の自然環境の保全、環境学習等に尽力	保全活動部門
10	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会 (三重県)	ナショナル・トラストによる買収地等の保全管理、カワバタモロコ(絶滅危惧 B類)の保護増殖、子どもたちを対象とした環境教育等を実施	保全活動部門
11	里山ねっとあやべ (京都府)	行政と地域住民が連携した遊休農地活用、田舎体験ツアー、森林保全ボランティア活動の推進等による里地里山の保全管理に尽力	保全活動部門

	受賞者	功績概要	部門
12	ハチリ リョウイチ 八里 良一 (大阪府)	大阪みどりのトラスト協会のボランティアリーダーとして、茨木ふるさとの森林や車作りの森、島本の森などにおける里山の保全活動に尽力	保全活動部門
13	ミンマ 南但馬の自然を考える会 (兵庫県)	地域の動植物の調査活動、自然林や高層湿原の保全・再生、子どもたちを対象とした自然学習の推進に尽力	保全活動部門
14	アシガワ 榎野川河口域・干潟自然再生協議会	干潟の再生を目的に産学公が協働して、底質改善やアマモ場造成の実証試験、鳥類調査、清掃活動等を実施	保全活動部門
15	サンリクドウ 三陸道の自然を守る会(宮城県)	ピオトープを複数ヶ所造成し、子どもたちの環境学習の場として積極的に活用	いきもの環境づくり・みどり部門
16	ホソノリツ オオヤ 美浦村立大谷小学校(茨城県)	霞ヶ浦及び里山における子どもたちによるアサザ等の水性植物の保護増殖や環境学習の実施	いきもの環境づくり・みどり部門
17	特定非営利活動法人 ゼウウ 徳野鳥観察舎友の会 (千葉県)	野生生物の生息環境の保全を目的とした、生物の生息環境の保全復元事業や環境学習の実施、野鳥保護思想の普及等に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
18	シズ 清水建設株式会社 技術研究所 (東京都)	屋上ピオトープの整備及びモニタリングにより、小動物の生息環境の創出等の効果を実証し、都市型屋上ピオトープを推進	いきもの環境づくり・みどり部門
19	ダチボクボラ 達目洞自然の会 (岐阜県)	ヒメコウホネ(絶滅危惧 類)の保護、湿地の再生事業、外来種の除去等、金華山山麓の「達目洞」の自然保護活動に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
20	カミチ 岡 与一 (三重県)	森林の育成、市民を対象とした花づくり指導、ゲンジボタルの保護等の里山の環境保全活動に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
21	ムエダ ツネオ 前田 常雄 (兵庫県)	アベサンショウウオ(絶滅危惧 A類)やミンガシワ等、地域の貴重な動植物の保護活動に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
22	アンウイツカ 麻生飯塚ゴルフ倶楽部 (福岡県)	ゴルファー緑化促進協会の収益還元事業として、県内各地の学校、公園及び福祉施設の緑化等、環境保全事業に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
23	サッポロビール株式会社新九州工場 (大分県)	敷地面積の3割強の緑化とともにピオトープ園の造成、自然護岸や枯木の活用等による小動物の生息環境を創出し、環境学習の場として活用	いきもの環境づくり・みどり部門

	受賞者	功績概要	部門
24	コロギ 興梠 シモ (宮崎県)	獣医不在の地域において、私財を投じた傷病鳥獣の保護やリハビリを長年にわたって務める等、野生鳥獣の保護に尽力	いきもの環境づくり・みどり部門
25	いぶり中央漁業協同組合 ^コ 杖浜女性部 ^{シヨハマ} (北海道)	子どもたちや地域住民の参加を求めた「魚を殖やす森づくり」の植林活動を行うとともに、森林教育等による自然環境保全の意識啓発に尽力	自然ふれあい部門
26	オオマガリ 大曲の水辺に夢をつくらう会 (岩手県)	北上川の荒廃した水辺環境を蘇らせたことを機に子どもたちや地域住民を対象とした水質調査、自然観察会等、水辺での自然ふれあい事業を推進	自然ふれあい部門
27	特定非営利活動法人 ^カ 治川ネット21 ^{シカワ} (新潟県)	自治体と連携した環境調査、環境学習、親子参加型の自然体験及び都市と農村の子どもたちの交流等の促進に尽力	自然ふれあい部門
28	オオヤマガワ 大山川の自然に親しむ会 (愛知県)	大山川の魚類やホタル等の生物の保護、美化清掃活動等を行いながら、子どもたちの川遊び体験を促進	自然ふれあい部門
29	ウシヤマ ^{マサト} 牛山 正人 (愛知県)	プールで育ったヤゴの救出や飼育を通じ、各校におけるトンボを題材とした自然環境教育の推進及び児童書の出版による普及啓発	自然ふれあい部門
30	オクダ ^{シュウゾウ} 奥田 修三 (滋賀県)	子どもたちを対象とした地域活動リーダーとして、自前の環境体験学習船を運行し、西の湖の水質変化、ヨシの役割、自然の大切さ等について環境学習を推進	自然ふれあい部門
31	京都府立 ^{キツ} 木津高等学校 (京都府)	水棲生物を指標とした水質調査、水質浄化作用の研究、樹木の大气浄化能力の調査等、継続した環境調査活動を実施	自然ふれあい部門
32	島根自然保護協会(島根県)	自然観察会や探鳥会の開催、希少植物の保護活動、環境学習の推進及び自然保護思想の普及に尽力	自然ふれあい部門
33	モリノオクヤマ 吉名奥山友の会 (広島県)	子どもたちや地域住民の参加による荒廃山地の森林整備、植樹及び自然環境学習の実施	自然ふれあい部門
34	ミザキ ^{タケシ} 宮崎 武 (香川県)	^{ヒガワ} 土器川流域の生物の調査・研究、ふるさとの川づくりをテーマとした子どもたちを対象とした環境学習の推進	自然ふれあい部門
35	オガタ ^{アツシ} 尾方 敦敏 (熊本県)	県立自然公園内のフクジュソウ(絶滅危惧類・県危急種)の保護や住民を対象とした自然環境学習の実施等、地域の自然環境の保全に尽力	自然ふれあい部門

	受賞者	功績概要	部門
36	カシハラ トシヲ 榎村 利道 (福島県)	湿原生態学の専門家として、尾瀬保護指導委員会副会長、尾瀬保護財団評議員等を努める等、尾瀬湿原の保全に尽力	調査 学術 研究部門
37	タケイ 竹之介 龍居 竹之介 (東京都)	(社)日本庭園協会会長をはじめとする多くの役職を務めながら、多くの造園図書の編纂 著述を手がける等、庭づくりの普及を通じた緑化促進に尽力	調査 学術 研究部門
38	イワサワ ヒサアキ 岩澤 久彰 (新潟県)	両生類の発生、遺伝学、動物系統分類学の専門家として、長年にわたって自然環境保全基礎調査に協力する等、自然環境保全に尽力	調査 学術 研究部門
39	ナガイ シンリウ 長井 真隆 (富山県)	富山県全植物リストである富山県植物誌の発刊の他、富山県自然環境指針の策定や富山県版レッドデータブック作成検討会委員長を務める等自然環境の保全に尽力	調査 学術 研究部門
40	ユアサ スミカ 湯浅 純孝 (富山県)	ホクリクサンショウウオ(絶滅危惧 B類)の県内生息状況の解明及び保護増殖等、県内の生物分布 生態等調査を実施	調査 学術 研究部門
41	キムラ セイロウ 木村 清朗 (福岡県)	淡水魚の専門家として長年にわたって自然環境保全基礎調査に協力するとともに、淡水魚類の保護に関する普及啓発に尽力	調査 学術 研究部門
42	ウチダ センゾウ 内田 詮三 (沖縄県)	海棲ほ乳類の専門家として長年にわたる自然環境保全基礎調査への協力、生態調査やレスキュー訓練等を通じたジュゴンの保護活動等、自然環境の保全に尽力	調査 学術 研究部門